

教材の活用場面

活用した教材	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と相手との違い ・こんなつもりじゃなかったのに (GIGA ワークブックとうきょう アドバンスト版) 		
教材URL	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/giga_workbook/sns_tokyo_note_advanced_jouhoumorals1.html https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/giga_workbook/sns_tokyo_note_advanced_jouhoumorals2.html		
STEP	STEP 4	領域	C 情報モラル・セキュリティ
学校名	昭島市立昭和中学校	校種	中学校
学年	第1学年	教科等	総合的な学習の時間
単元名	自分自身に関すること・他者や社会との関わりに関すること		
活用の概要	「GIGA ワークブックとうきょう アドバンスト版」を副教材として活用し、それぞれの個性や立場を尊重し、お互いを理解しあうために大切なことを考える。		

活用の様子

【ポイント1】 既習の内容を踏まえ、本時のめあてをつかむ	
	<p>一学期は「自己理解を深め、他者に伝える」授業を行ったことを踏まえ、本時では「自他の違いを考え共有する」ということを知る。</p>
【ポイント2】 一人一人の考えの共有	
	<p>授業者が授業支援アプリケーションを用いて個の考えをモニターで一覧表示することで、一人一人の考えを効果的・効率的に全体で共有する。</p>
【ポイント3】 他者の感じ方を共有し、違いに気付く	
	<p>3～4人のグループで自分の理由を述べ、他者の理由を聞くことにより、自分と異なる「感じ方」に気付き、自分の考え方を深める。</p>

授業中の活用ポイント

段階	●主な学習活動・生徒の活動	○支援・留意点■デジタル教材☆評価
導入	<p>1 本時のめあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 自他の違いを考え、共有しよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。 ・寛容の意味を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一学期に取り組んだ「自己理解」の内容を振り返り、今回のめあてを伝える。 ○漢字の意味などから連想させる
展開	<p>2 考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台学習者用端末で教材を表示する。 ・グループ内で意見交換する。 ・カードの中から1枚を選び、嫌だと感じる理由を発表する。 <p>3 深めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台学習者用端末で教材を表示する。 ・グループ内で意見交換する ・トラブルの起こるリスクについて、自分の考えを発表する。 ・5つのトーク場面について、トラブルの起こるリスクについて考え、意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■GIGA ワークブックとうきょう「自分と相手との違い」を用いて、自他の考え方の違いについて考える。 ○3～4名のグループをつくり、グループ内で考えを共有することができるようにする。 ■GIGA ワークブックとうきょう「こんなつもりじゃなかったのに」を用いて、自他のリスクの捉え方の違いを考える。 ○授業の残り時間によって、扱うトークの数を選択する。
まとめ	<p>4 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を振り返り、各自が学んだことや感じたことを入力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学習支援サービスを使用し、課題を割り当て、記入できたら提出する。 ☆それぞれの個性や立場を尊重し、お互いを理解しあうためにはどのようなことが大切なのかについて、自分の考えを深めようとしている。 <p style="text-align: center;">【主体的に学習に取り組む態度】</p>

